平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場会社名　萩原電気株式会社　　上場取引所　大
コード番号　7467　URL　http://www.hagiwara.co.jp/
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 岩井　三津雄
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役　(氏名) 福嶋　洋二　TEL 052-931-3511

四半期報告書提出予定日　平成24年11月9日　配当支払開始予定日　平成24年12月7日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	44,704	33.1	1,026	80.5	989	80.1	537	81.3
24年3月期第2四半期	33,589	13.1	568	△27.5	549	△27.3	296	△29.2

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　491百万円　(92.8%)　24年3月期第2四半期　255百万円　(△32.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	80.21	―
24年3月期第2四半期	44.24	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	40,325	17,667	43.8
24年3月期	39,811	17,309	43.5

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　17,667百万円　24年3月期　17,309百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	14.00	―	20.00	34.00
25年3月期	―	19.00			
25年3月期(予想)			―	19.00	38.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	84,000	6.5	1,880	6.7	1,800	6.4	1,030	14.6	153.83

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	6,908,000 株	24年3月期	6,908,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	212,296 株	24年3月期	212,278 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	6,695,716 株	24年3月期2Q	6,695,770 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外でありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー報告書を受領しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

・平成24年12月5日(水)・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 4
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10
（６）セグメント情報等 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州政府債務危機を始めとする海外経済の減速や円高・株安などの先行き不透明感が払拭できない中、震災からの復興需要や政府のエコカー補助金の効果など内需を中心に緩やかな回復基調の動きが見られたものの、その動きには力強さに欠ける状況で推移してまいりました。

このような環境のもと、当社グループの主要ユーザーである自動車関連企業では、政策面による内需押上げ策による国内販売需要や北米を始めとする海外販売需要を反映し、自動車生産は夏場までは堅調に推移してまいりました。

当社グループにおきましては、総力をあげて売上高の伸長に努めるとともに、継続的なコスト削減を推進し、収益の確保に努めてまいりました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は447億４百万円（前年同四半期比33.1%増）、営業利益は10億26百万円（前年同四半期比80.5%増）、経常利益は９億89百万円（前年同四半期比80.1%増）、四半期純利益は５億37百万円（前年同四半期比81.3%増）となり、東日本大震災の影響を受けた前年同四半期に対し増収増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

（デバイスビジネスユニット事業）

デバイスビジネスユニット事業におきましては、自動車関連企業向けを主力に、マイクロプロセッサー、システムＬＳＩ、アナログ・パワー半導体、コンデンサ、リレー、コネクタ等の販売ビジネス、システムＬＳＩ設計、ソフトウェア開発等の技術サポートビジネスを展開しております。

当第２四半期連結累計期間におきましては、累計期間末にかけて自動車の生産に陰りが見え始めたものの、新型ハイブリット車やコンパクト車を始めとする自動車の生産が総じて好調に推移したことにより、デバイスビジネスユニット事業の連結売上高は387億98百万円（前年同四半期比38.8%増）、営業利益は14億５百万円（前年同四半期比77.6%増）となりました。

（ソリューションビジネスユニット事業）

ソリューションビジネスユニット事業におきましては、お客様に対し、自社製品を含めたＩＴ機器の提供やアプリケーション開発を始めとする課題解決型ソリューション提供ビジネス、計測分野やＩＴプラットフォーム基盤構築分野におけるソリューション提供ビジネス、お客様製品に組み込まれる電子機器の販売ビジネス、電子・情報プロダクツの開発・製造ビジネスを展開しております。

当第２四半期連結累計期間におきましては、景気の先行き不透明感から、企業の設備投資・情報化投資に慎重な動きが継続する中、積極的にＦＡ・計測分野やＩＴプラットフォーム基盤構築分野、データセンターサービスなどのソリューション提案営業を展開したことにより、ソリューションビジネスユニット事業の連結売上高は59億６百万円（前年同四半期比4.8%増）となったものの、競争激化に伴う収益性の低下などもあり営業利益は１億92百万円（前年同四半期比19.0%減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

資産合計は、前連結会計年度末に比べて５億13百万円増加し403億25百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて４億75百万円増加し355億38百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が14億61百万円減少しましたが、現金及び預金が６億85百万円および商品及び製品が12億39百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて38百万円増加し47億86百万円となりました。

（負債）

負債合計は、前連結会計年度末に比べて１億56百万円増加し226億57百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて４億10百万円減少し190億65百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が５億45百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて５億66百万円増加し35億92百万円となりました。これは主に長期借入金が５億15百万円増加したことによるものであります。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて３億57百万円増加し176億67百万円となりました。

この結果、自己資本比率は43.8%（前連結会計年度末は43.5%）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済につきましては、海外経済の減速傾向や、エコカー補助金終了に伴う国内自動車販売台数の減少など、景気は停滞局面を迎えるものと思われます。

当社グループの主要なお客様である自動車業界においても中国や欧州での需要の減少が見込まれることなどを勘案し、平成24年６月25日に発表しました業績予想を下記のとおり修正いたしました。なお、今回の業績予想の修正による配当予想の修正はありません。

通期連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株あたり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	87,500	2,050	2,000	1,120	167.27
今回修正予想（B）	84,000	1,880	1,800	1,030	153.83
増減額（B　－　A）	△　3,500	△　170	△　200	△　90	－
増減率（%）	△　4.0	△　8.3	△　10.0	△　8.0	－
（ご参考）前期実績（平成24年3月期）	78,879	1,762	1,691	899	134.31

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ２百万円増加しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,338	4,023
受取手形及び売掛金	22,278	20,817
有価証券	100	100
商品及び製品	8,446	9,685
仕掛品	253	273
原材料及び貯蔵品	119	144
その他	528	495
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	35,063	35,538
固定資産		
有形固定資産	2,533	2,765
無形固定資産	613	508
投資その他の資産		
その他	1,613	1,523
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	1,601	1,512
固定資産合計	4,748	4,786
資産合計	39,811	40,325
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,855	11,309
短期借入金	5,090	5,360
1年内返済予定の長期借入金	799	1,019
未払法人税等	460	411
受注損失引当金	―	0
その他	1,268	963
流動負債合計	19,475	19,065
固定負債		
長期借入金	2,275	2,790
退職給付引当金	374	360
役員退職慰労引当金	324	345
その他	53	97
固定負債合計	3,026	3,592
負債合計	22,501	22,657

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,439	2,439
資本剰余金	2,884	2,884
利益剰余金	12,266	12,669
自己株式	△209	△209
株主資本合計	17,380	17,783
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	82	26
為替換算調整勘定	△153	△142
その他の包括利益累計額合計	△70	△115
純資産合計	17,309	17,667
負債純資産合計	39,811	40,325

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	33,589	44,704
売上原価	30,452	40,696
売上総利益	3,136	4,008
販売費及び一般管理費	2,568	2,981
営業利益	568	1,026
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	6	5
受取補償金	7	17
その他	16	15
営業外収益合計	32	40
営業外費用		
支払利息	32	28
為替差損	9	23
売上債権売却損	8	22
その他	0	2
営業外費用合計	50	76
経常利益	549	989
特別利益		
固定資産売却益	0	－
投資有価証券売却益	6	0
特別利益合計	6	0
特別損失		
固定資産処分損	6	4
投資有価証券評価損	6	4
会員権評価損	2	2
特別損失合計	15	11
税金等調整前四半期純利益	541	978
法人税等	245	441
少数株主損益調整前四半期純利益	296	537
四半期純利益	296	537

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	296	537
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29	△56
繰延ヘッジ損益	△0	－
為替換算調整勘定	△11	10
その他の包括利益合計	△41	△45
四半期包括利益	255	491
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	255	491
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	541	978
減価償却費	165	175
固定資産除売却損益（△は益）	6	4
会員権評価損	2	2
貸倒引当金の増減額（△は減少）	1	△1
受注損失引当金の増減額（△は減少）	1	0
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	11	21
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△22	△14
受取利息及び受取配当金	△8	△7
支払利息	32	28
投資有価証券売却損益（△は益）	△6	△0
投資有価証券評価損益（△は益）	6	4
売上債権の増減額（△は増加）	△1,449	1,461
たな卸資産の増減額（△は増加）	464	△1,283
仕入債務の増減額（△は減少）	86	△545
その他	200	△297
小計	32	528
利息及び配当金の受取額	8	7
利息の支払額	△32	△28
法人税等の支払額	△424	△421
営業活動によるキャッシュ・フロー	△415	85
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△23	△23
投資有価証券の売却による収入	48	20
有形固定資産の取得による支出	△31	△229
無形固定資産の取得による支出	△58	△33
その他	95	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	30	△269
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△400	270
長期借入れによる収入	1,800	1,100
長期借入金の返済による支出	△1,600	△364
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△100	△133
その他	△6	△11
財務活動によるキャッシュ・フロー	△307	859
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11	10
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△703	685
現金及び現金同等物の期首残高	2,771	3,268
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,067	3,953

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）セグメント情報等
（セグメント情報）
Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	デバイスビジネスユニット事業	ソリューションビジネスユニット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	27,955	5,633	33,589	－	33,589
セグメント間の内部売上高又は振替高	37	7	44	△44	－
計	27,992	5,640	33,633	△44	33,589
セグメント利益	791	237	1,028	△460	568

（注）１　セグメント利益の調整額△460は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	デバイスビジネスユニット事業	ソリューションビジネスユニット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	38,798	5,906	44,704	－	44,704
セグメント間の内部売上高又は振替高	44	5	50	△50	－
計	38,842	5,912	44,754	△50	44,704
セグメント利益	1,405	192	1,598	△572	1,026

（注）１　セグメント利益の調整額△572は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。